

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

第16回滋賀銀行従業員組合・年金者部会総会 私たちは正しい道を胸をはって守っていく 子どもや孫に恥じることなく語れるように！



10月24日 守山市内で滋賀銀行従業員組合・年金者部会の第16回総会が開催されました。総会には21名の部会員が参加しました。

総会は谷事務局長の進行で始まりまして。

朝からご参加いただいたみなさん、ご苦労さんでした。また、今日お集まりいただいたみなさんは、一昨日までそれぞれの持ち場でご奮闘いただいたと存じます。ご苦労さんでした。最初にお礼を申し上げます。

前回の集まりで組合活動の大事な武器である輪転印刷機が故障して修理が不可能な事態になっている。澤井さんが修理をし大事に使ってきたがもうそれも不可能になって買換を決断し、募金のお願いをしたところ多くのみなさんから多額の募金をいただきました。ありがとうございます。

さて、定期大会では滋賀銀行の人事制度改定があり議論を重ね交渉してきたが、わかったことは内部留保を積み上げながらこれ以上

和田一郎部会長の挨拶要旨

私たちは、正しい道を胸を張って守っていく。子ども達や孫達に恥じることなく語れる様に生きたい。議論を重ねながら従業員組合員さんとともに歩んでいきたいと思

最初に和田一郎部会長が挨拶（要旨は別記）。つづいて中島従組委員長が皆さんの日頃の支援に感謝の言葉を述べ、今職場で起こっている若い行員の言動について「厳しい経営環境の中で銀行はどうなるのか。儲けなくてはたかひかない。儲かる仕事は第一だ」と言っている。と考えられないと発言をする行員が増えていく現状を示し、組合活動も

困難があるが頑張ると挨拶しました。

つづいて議事に入り、谷事務局長が一年間の経過報告と新年度の行事予定について報告。

「ちぎんしがの会」の行事を「ちぎんの会」の行事と合同する

この中で、来年は「ちぎ

んの会」の行事が北と西の2カ所で開催されることになり、毎年6月に行っている「ちぎんしがの会」の親睦と総会を「ちぎんの会」の行事と合同する提案をしました。提案は全会一致で承認されました。



役員改選

和田部会長から新年度役員改選の提案があり、現在の役員全員の留任の提案がありました。全会一致で承認されたの通りです。

○新年度役員

部会長 和田 一郎
事務局長 谷 一明
世話人 植木 和美
倉見 栄一
澤井 正
田中紀美子
古田 雅二
三橋 俊夫
山崎 幸雄

●2016年度決算と2017年度予算が谷事務局長から提案があり、全会一致で承認されました。

2016年度の決算（2016.10.1～2017.9.30）

収 入			支 出		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前期繰越金	1,249,924	1,249,924	会議費	50,000	56,680
会費	40,800	45,600	渉外費	200,000	139,030
雑収入	0	8,011	行事費	100,000	45,090
			事務費	20,000	9,888
			雑費	10,000	0
			予備費	30,000	0
			次期繰越金	880,724	1,052,847
合計	1,290,724	1,303,535	合計	1,290,724	1,303,535

2017年度の予算（2017.10.1～2018.9.30）

収 入			支 出		
科目	予算	前期決算比	科目	予算	前期決算比
前期繰越金	1,052,847	△197,077	会議費	50,000	△6,680
会費	40,800	△4,800	渉外費	200,000	60,970
雑収入	0	△8,011	行事費	100,000	54,910
			事務費	20,000	10,112
			雑費	10,000	10,000
			予備費	330,000	330,000
			次期繰越金	383,647	△669,200
合計	1,093,647	△209,888	合計	1,093,647	△209,888

<内訳>

1. 会費は納入遅延分納入あり。
2. 雑収入はちぎんの会行動費戻入と利息。
3. 会議費は世話人会の交通費等。
4. 渉外費はちぎんの会参加分担金・会費・県母親大会の看板。
5. 行動費は従組との合同旗びらき。ちぎんしがの会行動費補助。
6. 事務費は通信費・封筒等。
7. 予備費は慶弔費・協賛文化事業等への参加補助（当期なし）

<内訳>

1. 会費は会員数34名×1,200円としました。
2. 会議費は総会会場費分担金ならびに交流会分担金。
3. 渉外費はちぎんの会・西部集い費用・各種団体会費負担金
4. 行事費は従組との合同旗開き、ちぎんの会・西部の集い参加費補助。
5. 事務費は通信費等。
6. 予備費は慶弔費・協賛文化事業等への参加補助と輪転機購入補助。

会費は月300円に
年間3600円に改正

三橋世話人から部会の会費改正の提案がありました。規約では会費は月500円となつていますが現在は申し合わせにより月1000円納めていただいています。

理由は、当時は行事などの関係で繰越金が多くあり、加えて地銀連（当時）が傘下の単組へ活動資金の助成がされた際、年金者部会にも交付されたことによりです。その後一定の活動を積み重ねて来たことと、今般の輪転機購入に当たり、年金者部会から援助をすることをふまえ、会費の改正を提案するものです。規約通り500円に戻しては。約との意見も出ましたがここ数年の推移からみて一気に戻さず3000円の提案をしました。提案は、全会一致で承認されました。

改正は次年度（2018）からに決まりました

総会では、



機関紙『波紋』400号記念レセプション

年金者部会終了後、同会場で機関紙『波紋』400号記念レセプションが開かれ、部会員全員が参加しました。

平和への願いを
シャンソンにのせて



第1部は森みちさんのミニコンサート。百万本のバラや愛の賛歌など森さんの歌に魅了され、アツという間の40分でした。第2部は倉見さんの乾杯の音頭で始まり、倉見さんは

『波紋』の第1号から関わった者として感無量である。



と話され、来賓の県労連山元事務局長は「継続は大変なこと。機関紙は、伝えること、届けることと記録として残すことが大事。400号に敬意を表する」と挨拶。また、午前中の大会から参加されていた岡野近畿地協議長は「私も『波紋』のファン。毎号どの記事も今伝えなければならぬことがキチンと伝わっている」と話され、レセプションは和やかに懇談がされました。

従組の輪転機購入支援に 会計から30万円の支出を

予算との関係で部会長から「すでにご承知のように組合の輪転機が故障し、修理が不可能になりやむなく買換することになりました。」

皆様には、募金のお願いもしておりますが、本機関紙の

印刷やニュースの配布の郵送料も従組にお願いしていることでもあり、関係する年金者部会とささなみネットの二つの組織も応分の負担をするにとし、繰越金から30万円の支出（支援）を行うことについて併せて皆さんに諮りたい」と提案されました。

提案は全会一致で承認されました。